

青梅市公共下水道事業中期構想(案)意見聴取の結果

平成21年11月15日から11月30日までの16日間において、青梅市公共下水道事業中期構想(案)に対する意見聴取を行った結果、9名の方から13件の意見が提出されました。

そこで、これらの意見を適宜要約し、類似項目ごとに整理したうえで、青梅市公共下水道事業中期構想検討委員会の考え方を取りまとめました。

| 提出された意見等の概要 | | 市の対応方針 |
|-------------------------|--|--|
| I 現状と課題について | | |
| ① | 御岳2丁目の者ですが、負担金徴収に不満を感じている。既に浄化槽を設置しているなかで、今後下水道へ接続するための費用が発生することに対し不安を感じている、高齢者が多い土地の実状を調べて進めてもらいたい。 | 下水道工事は、道路に埋設される下水道本管と市民のみなさんの宅地内に設置させていただく公共汚水ますまでを市が施工します。これらの工事費の一部として受益者負担金をいただいています。市民のみなさんには、各家庭の建物等からの排水を公共ますに接続する排水設備工事をさせていただくことで、下水道が使用できるようになります。市では排水設備工事に対し、水洗便所改造資金貸付制度や生活保護世帯水洗便所改造費補助制度を行っており、下水道接続への支援を実施しています。公共下水道への接続は、河川の水質保全だけでなく、浄化槽により処理されている家庭も清掃等のわずらわしさが解消されます。また、居住環境の向上による若年世代の定住化も期待できると考えます。 |
| ② | 岩蔵温泉の近くに住む者であるが観光客も多いため周辺環境をより良くするためにも早期に下水道を整備してほしい。 | 第2章(P16、17)に記載している内容を踏まえ、今後も潤いのある水辺環境づくりを目指します。また、第6章(P66)に記載している水洗化率100パーセントが早期に実現できるよう市民の皆さんと力を合わせて水質環境の保全に努めます。 |
| ③ | 川の汚れが目立っている。また、子供が川で遊んでいない。早期に下水道を整備してほしい。 | |
| ④ | 黒沢川の本流に住んでおりますが、下水道の計画から相当の年数がかかって、ようやく工事が始まった。これから先も清流を保つためにも早期に下水道を使用できる様お願いする。また、早期に全市水洗化に向けて整備を促進していただきたい。 | |
| ⑤ | 私の住む地区では下水道がつながり、快適な生活をさせていただいる。ところが、黒沢3丁目に住む親戚のトイレはいまだにくみ取りのままである。一日も早く工事が完了し、水洗化できるよう願っている。また、青梅の代表的な観光地である御岳地区についても早期に下水道がつながり、美しい景観がまもられますようお願いする。 | |
| ⑥ | 下水道の計画から長い期間たつてようやく工事が始まりよかったと思う。公共下水道の意義を考えると早期に整備してほしい。 | 第4章(P30,31)および第6章(P63)に記載している整備計画をもとに、平成31年度には下水道計画区域への整備が完了するよう促進していきます。 |
| ⑦ | 下水道事業のことを把握していなかったが公共事業の意義より早く接続を願う。市民の理解、協力を得る為、現状今後の計画、実施等について公表願いたい。未整備地区に住居する者ですが早期に下水道が普及する事を望んでいる。 | |
| ⑧ | 市民の理解と協力を得るため下水道整備の現状及び今後の計画実施について公表してほしい。 | 今回、広報特集号および市のホームページに、下水道に関する情報を掲載いたしました。今後も市民のみなさん方のご理解を得られるよう努力いたします。 |
| ⑨ | 礫岩地帯では、耐震対策が難しく費用も嵩むので設備を小規模にする。 | 礫岩地帯の管きよの整備費は、他の地域と比較し費用は高くなりますが、地震による影響は少ないため耐震対策の費用は安くなります。なお、第4章(P33,34)および第6章(P64)に示すとおり、重要な施設等については、耐震診断を実施し必要に応じた対策を図ります。 |
| ⑩ | 未普及地域の整備による事業費等、下水道施策の見直しが必要である。 | 今後の汚水整備に関しては、第4章(P32)に記載するとおり、低コストで早期かつ効率的な整備を推進していきます。 |
| II 基本理念と今後の施策 | | |
| ⑪ | 基本理念を実現するため、青梅市環境基本計画と密接に連携することを期待する。 | 青梅市環境基本計画でも、下水道未普及地域への対応や雨水の活用などが具体的な施策として計上されており、下水道中期構想と密接に連携しておりますので第1章(P3)に追記いたしました。 |
| III 下水道財政の今後の見通し | | |
| ⑫ | 施設の耐用年数、人口減少を含めたシミュレーションが必要ではないか。 | 今後の下水道財政の見通しについては、第5章に示していますが、人口減少に伴う有収水量の減少、施設の更新計画などを考慮した、財政の見通し(第5章)を作成しました。 |
| IV 整備目標 | | |
| ⑬ | 人口減少、施設の耐用年数を基準とした目標を定める。 | 今回の中期構想の策定にあたり、人口減少や施設の耐用年数をもとにした目標設定を行なっています。 |